

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

祝 センバツ大会出場決定

第95回記念選抜高等学校野球大会（春の甲子園）への出場が決まりました。春の大会は2年連続、夏の大会を合わせると4季連続の栄冠を掴みました。選手諸君の頑張りに拍手を送ります。

今年の大会は、従来の電話による出場決定連絡ではなく、インターネット中継「センバツLIVE」を生で聞きながら発表を待つというスタイルに変更されました。従来の電話方式は、全国で36校の校長にしかない名誉でもあり、楽しみにしていた部分も正直ありましたが、1階のエントランスホールで多くの先生方や野球部長、そして残っていてくれた一般生徒のみなさんと喜びを共有できたことは、嬉しい瞬間でした。

当日は、昼過ぎ頃から気もそぞろで、ふわふわとした時間が流れていました。14時ころからマスコミ各社が来校すると緊張感が増し、ホールと校長室を行ったり来たり。発表の随分前から、本校が推薦候補にあがり、かなりの確率で出場決定しそうだとの噂やネット情報はあったものの、実際に目で見、耳にするまでは不安がよぎるもの。過去にも準備はしたものの落選の憂き目を見たこともあったと聞くと、ますます不安に・・・

21世紀枠の発表から始まり、北海道地区、東北地区と進み、いよいよ関東・東京地区、順に学校名が読み上げられ、東海大学菅生高校のあと・・・二松学舎大学附属高校とコールされた瞬間、思わずガッツポーズ、そして隣の立野部長先生とがっちり握手で野球部の出場を祝福しました。

その後、私から野球部選手に直接、大会出場を伝え、エールを送りました。以下、その内容です。

第95回記念選抜高等学校野球大会への出場決定を決めました。皆さん、選抜出場おめでとう。

たゆまぬ努力の継続と先輩から引き継いだ伝統を守ってくれたことを大変嬉しく誇りに思います。

思えば昨年秋に新チームに移行し、限られた時間でチームの結束を高め、強化を図るのは大変だったことと思います。そのような中、秋季大会では一戦一戦成長し、チーム力を高め、結果を残してきました。準決勝・決勝では全校生徒が応援する中でいかに力を発揮してくれました。決勝では惜しくも敗れましたが、二松学舎の強さを見せつけてくれたと思っています。

冬のトレーニングは厳しく辛い日々であったかもしれませんが、今日の知らせを受け、少し報われた気持ちを持ったかもしれませんね。

来る3月に開催される選抜大会では、これまで培った力を存分に発揮し、日本一を目指して

戦い、全国に二松学舎の名を轟かせてくれることを期待しています。本当に良かった、おめでとう。

キャプテンの押切君からは、「今回の出場は嬉しく思います。秋の大会で負けた悔しさを今回の春のセンバツ大会でぶつけて、最後まであきらめず絶対に優勝して二松学舎にいい報告ができるようにします。応援よろしくお願いします。」と力強い挨拶がありました。

